

平成23年度上半期

# 消費生活相談の概要

平成23年度上半期（4～9月）に、岡山県消費生活センターに寄せられた消費生活相談件数は4,425件で、前年度同期（4,633件）に比べて、208件（4.5%減）減少しています。

主な概要は次のとおりです。

- 1 不当・架空請求の相談件数は、847件と前年同期（881件）に比べて、34件（3.9%減）減少しています。また、それ以外の相談件数は3,578件で前年同期（3,752件）に比べて、174件（4.6%減）減少しています。
- 2 内容別に減少幅の大きいものを見ると、多重債務相談などの「融資サービス」が103件と一番大きく減少し、商品を特定できない「商品一般」も60件減少しています。
- 3 全体の相談件数が減少する中、4位の「預貯金・証券等」は、159件と前年同期（96件）に比べて、63件（65.6%増）と増加しています。未公開株、社債などの詐欺的勧誘に関する相談が多くなっており、注意が必要です。
- 4 年代別では、70歳代以上からの相談が最も多く、続いて30歳代、40歳代、60歳代という順序になっています。前年同期に比べて全体的に減少している中で、60歳代以上の高齢者からの相談の全相談件数に占める割合が31%と増加していることが注目されます。

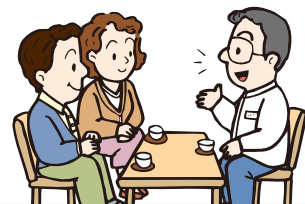
## ① 相談件数及び内容

順位	相談内容	件数		
		H23年度(上半期)	H22年度(上半期)	H21年度(上半期)
1	放送・コンテンツ等	1,016	1,001	939
	うち不当(架空)請求	826	793	779
2	レンタル・リース・貸借	214	248	276
3	役務その他	164	176	170
4	預貯金・証券等	159	96	83
5	融資サービス	138	241	344
	うち不当(架空)請求	14	21	40
6	工事・建築・加工	137	151	180
7	商品一般	130	190	420
	うち不当(架空)請求	7	67	270
8	自動車	109	119	118
9	修理・補修	99	77	81
10	インターネット通信サービス	89	85	52
	その他	2,170	2,249	2,465
	不当(架空)請求	847	881	1,089
	不当(架空)請求以外	3,578	3,752	4,039
	上半期合計	4,425	4,633	5,128

※1) 順位は平成23年度上半期のもの

※2) 平成20年度までの「他の運輸・通信」が廃止され、それに代わるキーワードとして「放送・コンテンツ等」と「インターネット通信サービス」が新設された。

※3) 商品・サービスを特定できない不当・架空請求は商品一般に計上



## ② 年代別相談件数

年度	年齢	20代未満	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	不明	合計
H23年度	件数	209	469	653	624	538	589	783	560	4,425
	割合	4.7	10.6	14.8	14.1	12.2	13.3	17.7	12.7	100%
H22年度	件数	213	577	744	592	575	552	755	625	4,633
	割合	4.6	12.5	16.1	12.8	12.4	11.9	16.3	13.5	100%